

Press Release

【報道関係各位】

2026年6月9日
ポーラ美術館

「セザンヌ・レジェンド」展 6月17日(水)より開催

箱根、ポーラ美術館コレクション 選りすぐりの6点を展示

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は「セザンヌ・レジェンド」展を6月17日（水）より2027年4月7日（水）まで開催します。「近代絵画の父」と称される画家ポール・セザンヌの没後120年を記念し、ポーラ美術館コレクションの中から選りすぐりのセザンヌ作品をご紹介しますとともに、20世紀美術に革命をもたらしたその芸術の魅力に迫ります。

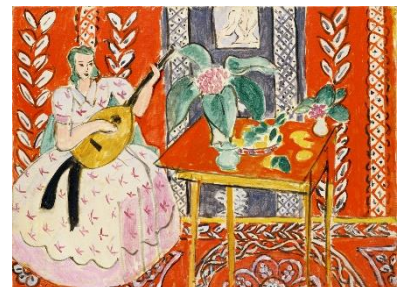


ポール・セザンヌ《砂糖壺、梨とテーブルクロス》1893-1894年、ポーラ美術館

南仏のエクズ=アン=プロヴァンスに生まれたポール・セザンヌ（1839-1906）は、この地方都市における美術教育を受けたのちにパリに出て、最新の美術動向、すなわち近代性に触れ、独創的な表現への道を切り拓きます。二度ほど印象派展に参加しながらも、瞬間を捉える印象派の美学とは距離を置き、故郷のプロヴァンス地方に活動の拠点を移して研鑽を積んだセザンヌの最終的な目標は、「自然と平行するひとつの調和」として芸術を表現することにあります。

本展では、ポーラ美術館コレクションより、静物・風景・人物などを描いたセザンヌによる6点の油彩画とともに、ポール・ゴーガン、フィンセント・ファン・ゴッホ、パブロ・ピカソ、アンリ・マティスなど、セザンヌを礼讃し、その影響を受け、セザンヌの伝説を語り継いだ画家たちの作品をご紹介します。

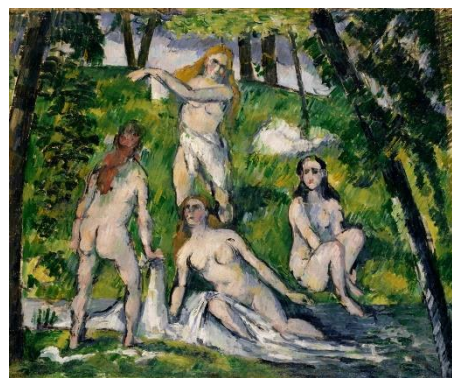
「おわかりになるでしょう、
セザンヌとは絵画の神のような存在なのです」
——アンリ・マティス 1925年



上：ポール・ゴーガン《白いテーブルクロス》1886年
下：アンリ・マティス《リュート》1943年 ともにポーラ美術館



ポール・セザンヌ《プロヴァンスの風景》1879-1882年

ポール・セザンヌ《4人の水浴の女たち》1877-1878年
ともにポーラ美術館

【関連プログラム】

決まり次第、Web サイトにてお知らせいたします。

■ 展覧会概要

「セザンヌ・レジェンド」

会期：2026年6月17日（水）－ 2027年4月7日（水）会期中無休 ※12月1日（火）は休館

会場：ポーラ美術館 展示室 5

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

企画：工藤弘二（ポーラ美術館学芸員）

展覧会 Web ページ：<https://www.polamuseum.or.jp/exhibition/20260617c02/>

出品予定作家：ポール・セザンヌ、ピエール・オーギュスト・ルノワール、オディロン・ルドン、ポール・ゴーガン、フィンセント・ファン・ゴッホ、ピエール・ボナール、アンリ・マティス、パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック

■ 同時開催

モネ没後 100 年・開館 25 周年記念「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」

<https://www.polamuseum.or.jp/sp/the-new-vision/>

開館 25 周年記念プログラム「コレクション・シネマ」

<https://www.polamuseum.or.jp/sp/collection-cinema/>

■ ポーラ美術館について

2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も収集・展示し、同時代の表現へと展望を拓いている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

入館料：大人 ¥ 2,200（シニア含む）／大学・高校生 ¥ 1,700／中学生以下無料／障害者手帳をお持ちのご本人および付添者（1 名まで）¥ 1,100 ※すべて税込 団体割引あり

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

公式ウェブサイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：小野、稲見 TEL:0460-84-2111

ポーラ美術館広報事務局：小沢、岩崎 TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）

E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp